

経営比較分析表

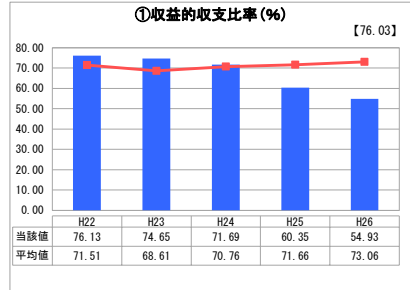
岐阜県 白川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	96.74	1,238

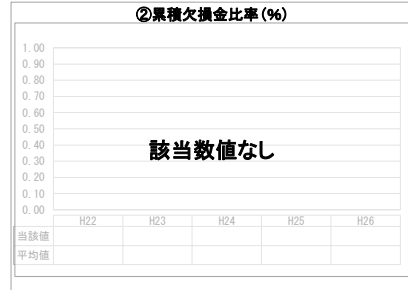
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,695	356.64	4.75
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,603	0.80	2,003.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

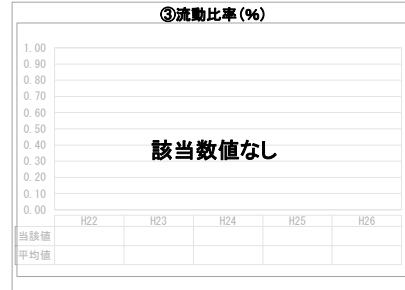
1. 経営の健全性・効率性



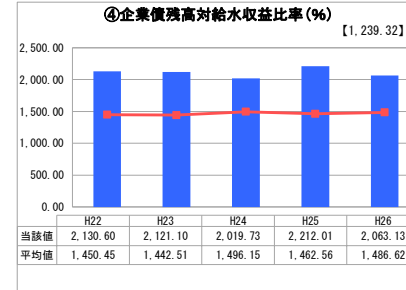
「単年度の収支」



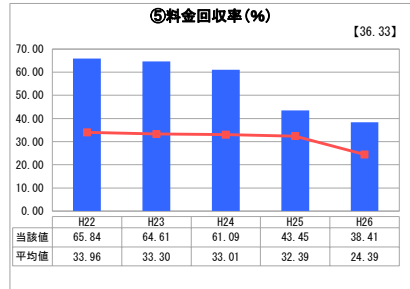
「累積欠損」



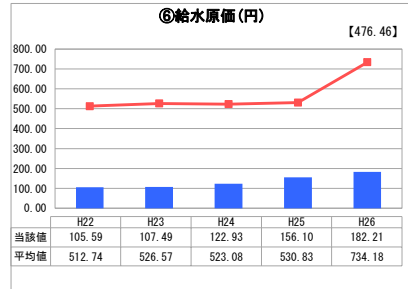
「支払能力」



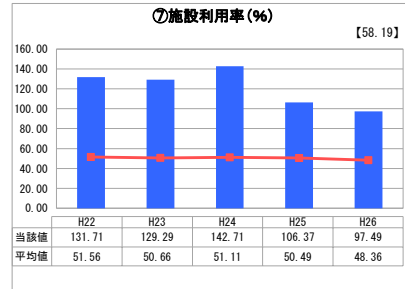
「債務残高」



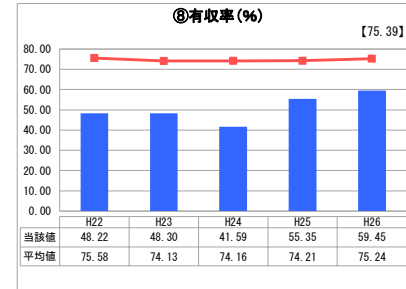
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

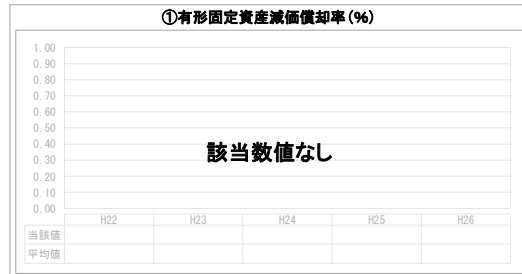


「施設の効率性」

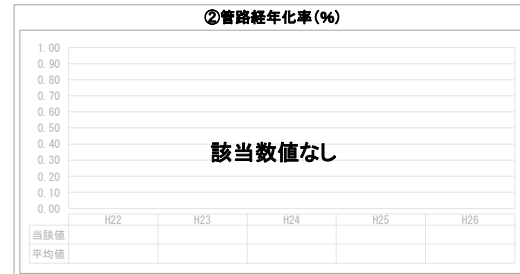


「供給した配水量の効率性」

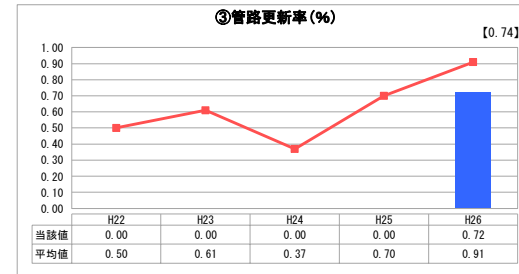
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が下がってきているので改善する必要がある。人口の減少による給水収益の減少、料金回収率の低下が考えられる。経費の削減や料金の回収を改善していく必要がある。給水原価は他の類似団体よりも低い数値となっている。施設利用率は他の類似団体よりも高い数値となっている。有収率が低いことから漏水している可能性があるため調査をしていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路更新率が他の類似団体よりも低いので更新をしていく必要がある。漏水が起きている古い管もあるかもしれないので更新をしていく必要がある。

全体総括

今後の人口減少による給水収益の減少や老朽化する施設・管路などの更新が必要となってくるため、経費の削減や効率的な業務の遂行に努め、水道会計の健全運営に努める。料金の未納者を減らしていくなどして料金回収率などを改善して毎年少しずつでも管路を更新していく必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。